

株式会社りそなホールディングス 様

りそなHDの主要グループ会社13社で活用。
議事録作成時間が半減し、会議出席者を
最小限にできるように。

導入前の課題

- 人手による議事録作成には多大な時間がかかり、共有の迅速化が課題となっていた
- 機密情報を扱う会議が多く、クラウド型の議事録ソリューションの導入が難しかった

導入後の効果

- ある主要会議では議事録完成までの時間が約3時間から約1.5時間に削減された
- スタンドアローン型のため、機密情報を扱う会議でもセキュアな利用ができる

録音音声の書き起こしに多大な時間がかかっていた

りそなHDおよび傘下の各社では、セキュリティ管理の観点からクラウド型の議事録ソリューションの導入が難しい状況にあったため、ツールに頼らず議事録作成を行っていました。人手による議事録作成には多大な時間がかかり、関係者への議事録共有の迅速化が課題となっていました。

機密情報を扱う会議でもセキュアに利用

傘下のりそな銀行でも、主要会議における議事録の正確性を担保するため、録音音声の全文書き起こしを行っていました。

書き起こしには多大な時間がかかっていたため、2022年より業務効率化を目的に

「ScribeAssist」を導入しました。会議での発言が音声認識によってリアルタイムにテキスト化されるため、人の手による従来の議事録作成と比較して、大幅な時間短縮が可能となりました。また、「ScribeAssist」はスタンドアローン型のため、機密情報を扱う会議でもセキュアな利用ができることもメリットです。



▲ ScribeAssist の利用イメージ

グループ合計13社の全部署で「ScribeAssist」が活用されています(2024年10月時点)。ホールディングスでの一括契約に切り替えたことで、コスト的にもメリットがあった点も利用が広がった要因の一つです。

議事録作成時間と会議出席者が半減

「ScribeAssist」の導入により、録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで



りそなホールディングス

株式会社 りそなホールディングス

サービス	ScribeAssist
業種	その他
利用シーン	経営会議、委員会
導入	2022年7月



▲ 全席にマイクを配置した会議室を利用する場合も

りそなHDの主要グループ合計13社の全部署で活用中

セキュリティの高さや業務効率化などの導入効果が認められ、グループ7社が2024年8月より新たに導入を決定し、グループ内の利用を拡大しました。従来からそれぞれで導入していた6社を含め、りそなHDの主要グ

行えるようになりました。議事録作成の負担を軽減し、会議の生産性向上を実現しています。また、関係者へテキストデータを即時に共有することができるようになったため、会議関係者を必要最小限に抑えられるようになりました。ある主要会議では、会議関係者は約10名から約5名に、議事録完成までの時間も平均約3時間から約1.5時間に削減されています。



お客様からのコメント

デジタル技術を活用した金融サービスの提供によるカスタマーサクセスの実現を目指す当社グループは、社内の既存業務を効率化し、価値創造に繋がる業務の比率を高め、さらなる成長に向けた取組みを加速しています。音声テキスト化の社内ニーズはますます高まっており、外部接続を伴わないセキュアな環境での実現は、今後の活用余地も大きいと考えています。スピーディな意思決定に寄与するツールとして、最大限に活用していきます。

株式会社りそなホールディングス グループ戦略部 田代 美帆子 様

導入実績

2024年9月現在／議事録ソリューションの導入実績

民間企業・団体 **1750** 件以上

金融

- ・オリエントコーポレーション
- ・オリックス生命保険
- ・さわやか信用金庫
- ・湘南信用金庫
- ・大同生命保険
- ・東日本銀行
- ・福井信用金庫
- ・みずほ銀行
- ・三井住友銀行
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・横浜銀行
- ・りそな銀行

化学

- ・ポラオールビス・ホールディングス
- ・三菱ガス化学
- ・UBE

公共インフラ

- ・NTTコミュニケーションズ
- ・コスモエネルギーホールディングス
- ・四国電力
- ・全日本空輸
- ・東日本旅客鉄道

建設

- ・飛島建設

報道機関

- ・仙台放送
- ・十勝毎日新聞
- ・日本テレビ放送網
- ・フジテレビジョン

医療

- ・会津中央病院
- ・稲沢市民病院
- ・日本赤十字社
- ・日本超音波医学会

JA

- ・全国共済農業協同組合連合会
- ・仙台農業協同組合
- ・とびあ浜松農業協同組合
- ・飛騨農業協同組合

中央省庁

- ・経産省
- ・内閣府
- ・財務省
- ・防衛省

その他

- ・アスクル
- ・And Do ホールディングス
- ・セイコーグループ
- ・西武ホールディングス
- ・日本テレワーク協会
- ・びあ
- ・本田技研工業
- ・LIXIL

製品情報

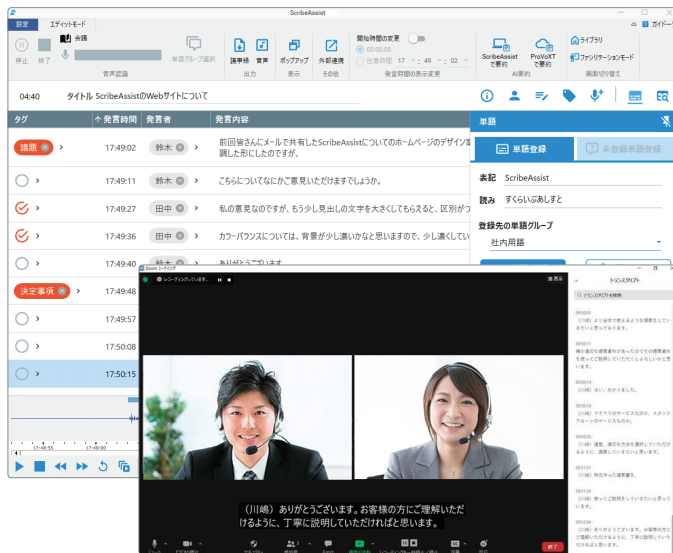


AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist (スクライバアシスト) は、音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアローン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品詳細ページはこちら

